



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月8日

上場会社名 株式会社住友倉庫 上場取引所 東
 コード番号 9303 URL <https://www.sumitomo-soko.co.jp/>
 代表者 (役職名) 社長 (氏名) 小野 孝則
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経理部長 (氏名) 星野 公彦 TEL 06-6444-1183
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 2022年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|---------|------|--------|-------|--------|------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第2四半期 | 123,520 | 16.8 | 17,655 | 85.1 | 19,158 | 76.3 | 14,781 | 92.0 |
| 2022年3月期第2四半期 | 105,789 | 13.8 | 9,540 | 114.8 | 10,869 | 87.7 | 7,700 | 129.2 |

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 16,142百万円 (16.2%) 2022年3月期第2四半期 13,886百万円 (30.4%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第2四半期 | 184.01 | 183.56 |
| 2022年3月期第2四半期 | 94.28 | 94.02 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年3月期第2四半期 | 380,449 | 219,601 | 55.1 |
| 2022年3月期 | 373,720 | 213,945 | 54.4 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 209,490百万円 2022年3月期 203,476百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | — | 38.00 | — | 59.00 | 97.00 |
| 2023年3月期 | — | 50.00 | | | |
| 2023年3月期（予想） | | | — | 50.00 | 100.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|------|--------|------|--------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 225,000 | △2.8 | 25,600 | △7.7 | 28,600 | △6.0 | 23,200 | 17.7 | 289.59 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(注) 特定子会社には該当いたしません。当社の子会社であるJ-WeSco株式会社は、保有するその子会社（当社孫会社）であるWestwood Shipping Lines, Inc.の全株式を売却したため、同社及び同社の子会社2社を第1四半期連結会計期間末において、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、(添付資料)12ページ「2. (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、(添付資料)13ページ「2. (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年3月期2Q | 81,431,915株 | 2022年3月期 | 81,431,915株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年3月期2Q | 1,536,777株 | 2022年3月期 | 663,172株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2023年3月期2Q | 80,330,795株 | 2022年3月期2Q | 81,678,411株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、(添付資料)5ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 5 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 12 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 12 |
| (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) | 12 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 12 |
| (会計方針の変更) | 13 |
| (セグメント情報) | 14 |
| (参考資料) | 15 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の経済環境は、国内では個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られた一方、資源価格の高騰や急速な円安進行に伴う物価上昇の影響により、景気は先行き不透明な状況が続きました。海外においては、米国では個人消費は概ね堅調に推移したものの、インフレ抑制のための急速な利上げの影響により景気は伸び悩みました。中国では輸出が増加するなど持ち直しの動きは見られましたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う経済活動の抑制や不動産市場の停滞により景気は減速傾向を示しました。

このような情勢のもと、当社グループにおきましては、中期経営計画で掲げた事業基盤の強靱化を一層推進するため、物流及び不動産事業の収益力強化を目指し、同計画で策定した諸施策を着実に遂行してまいりました。

物流事業では、国内においては、神戸市・ポートアイランドの大型倉庫において定温庫を増設するなど施設の高機能化により、高品質な物流サービスの提供に努めたほか、当社連結子会社では静岡県袋井市において新倉庫の建設を進めております。海外においては、タイの現地法人が新倉庫建設に着手したほか、米国ではテキサス州に新たな拠点を開設するなど、国際物流ネットワークの拡充を図りました。不動産事業では、2022年6月に大阪府池田市において賃貸用不動産物件を取得するなど、事業の拡大に取り組んでまいりました。

また、当社グループの最適な事業ポートフォリオを検討した結果、コア事業である物流事業及び不動産事業に経営資源を集中するとの方針のもと、海運事業を営む当社連結子会社のWestwood Shipping Lines, Inc.の全株式及び当社連結子会社のSW Maritime 1, Inc.等全4社が保有する船舶をそれぞれ譲渡いたしました。

このような取組みのもと、当第2四半期連結累計期間につきましては、営業収益は、国際一貫輸送が増収、海外子会社の業績も好調となったことに加え、国内では倉庫貨物の取扱いが引き続き堅調であったほか、海運市況の好転も維持されたことなどから、物流事業及び海運事業が増収となり、1,235億20百万円（前年同期比16.8%増）となりました。営業利益は、作業諸費や人件費など営業原価が増加したものの、増収効果により、176億55百万円（同85.1%増）となりました。また、経常利益は191億58百万円（同76.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、関係会社株式売却益等の計上により147億81百万円（同92.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①物流事業

倉庫業では、機械部品等の取扱いが増加し、また保管残高も好調に推移したことから、倉庫収入は151億3百万円（前年同期比7.4%増）となりました。港湾運送業では、コンテナ荷捌及び一般荷捌の取扱いが増加したことから、港湾運送収入は161億96百万円（同2.9%増）となりました。国際輸送業では、海上運賃の高騰により国際一貫輸送が増収となったこと、海外子会社では米国を中心に業績が好調となり、為替相場は前年同期比で円安に推移して増収となったことから、国際輸送収入は377億8百万円（同44.3%増）となりました。陸上運送業及びその他の業務では、eコマース関連輸送の取扱拡大により陸上運送収入が増収となったことから、陸上運送ほか収入は301億94百万円（同5.3%増）となりました。

以上の結果、物流事業全体の営業収益は992億2百万円（同17.2%増）となり、営業利益は76億96百万円（同11.4%増）となりました。

②海運事業

海運事業では、Westwood Shipping Lines, Inc. 及びその子会社2社が第1四半期連結会計期間末に当社の連結の範囲から除外され、3か月分の反映にとどまったため、コンテナの輸送数量は減少したものの、運賃水準の上昇や円安の影響で増収となり、営業収益は204億31百万円（前年同期比19.6%増）、増収効果により営業利益は99億36百万円（前年同期比75億21百万円増）となりました。

③不動産事業

不動産事業では、前期及び当第2四半期連結累計期間に取得した賃貸用不動産が寄与したものの、一部テナントの賃料改定等により、営業収益は53億28百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益は取得時一時税金の発生もあり、25億85百万円（同7.1%減）となりました。

(注) 1. 上記の各セグメントの営業収益には、セグメント間の内部営業収益14億41百万円（前年同期12億78百万円）を含んでおります。

2. 上記の各セグメントの営業利益は、各セグメントに帰属しない全社費用等25億63百万円（前年同期25億69百万円）控除前の利益であります。

セグメント別の営業収益内訳

| 内訳 | 前第2四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | 前年同期比増減 | |
|--------------|---|---|-----------|--------|
| | | | 増減額 | 比率% |
| 物流事業 | 84,619百万円 | 99,202百万円 | 14,582百万円 | 17.2 |
| （倉庫収入） | (14,066) | (15,103) | (1,037) | (7.4) |
| （港湾運送収入） | (15,736) | (16,196) | (459) | (2.9) |
| （国際輸送収入） | (26,134) | (37,708) | (11,573) | (44.3) |
| （陸上運送ほか収入） | (28,682) | (30,194) | (1,512) | (5.3) |
| 海運事業 | 17,079 | 20,431 | 3,352 | 19.6 |
| （海運事業収入） | (17,079) | (20,431) | (3,352) | (19.6) |
| 不動産事業 | 5,368 | 5,328 | △40 | △0.7 |
| （不動産事業収入） | (5,368) | (5,328) | (△40) | (△0.7) |
| 計 | 107,068 | 124,962 | 17,894 | 16.7 |
| セグメント間内部営業収益 | △1,278 | △1,441 | △163 | — |
| 純営業収益 | 105,789 | 123,520 | 17,731 | 16.8 |

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

資産合計は、株式相場の下落に伴う「投資有価証券」の減少があったものの、Westwood Shipping Lines, Inc. の株式売却による「現金及び預金」の増加及び船舶の売却に係る未収入金の計上による流動資産「その他」の増加等により、前期末比1.8%増の3,804億49百万円となりました。負債合計は、コマーシャル・ペーパーの発行等により、前期末比0.7%増の1,608億47百万円となりました。純資産合計は、株式相場の下落に伴う「その他有価証券評価差額金」の減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う「利益剰余金」の増加等により、前期末比2.6%増の2,196億1百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益及び減価償却による資金の留保等により197億34百万円の増加（前年同期は129億5百万円の増加）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入があったものの、有形固定資産の取得による支出等により、46億60百万円の減少（前年同期は35億87百万円の減少）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、コマーシャル・ペーパーの発行による収入があったものの、配当金の支払い等により82億26百万円の減少（前年同期は45億13百万円の減少）となりました。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フローは、以上の結果に「現金及び現金同等物に係る換算差額」（11億72百万円）を加えた全体で80億20百万円の増加となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は、488億60百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、物流事業において倉庫、港湾運送、陸上運送の荷動きが堅調に推移するとともに、国際輸送では海上運賃が高止まりし、また、海外子会社の業績が米国を中心に好調となったことに加え、為替相場が円安に推移したことから、営業収益及び営業利益は当初予想を上回りました。また、営業利益の上振れのほか、受取配当金の増加や円安に伴う関係会社株式売却益の増加等により、経常利益及び四半期純利益についても当初予想を上回りました（下記（参考）をご参照ください）。

第3四半期連結会計期間以降につきましては、国際輸送における海上運賃の軟化に伴う収益の減少が予想されますが、倉庫、港湾運送、陸上運送等の取扱いは引き続き堅調に推移することが見込まれ、物流事業における下半期の業績は当第2四半期連結累計期間と比較し減速するものの、その影響は限定的と判断しております。このため、通期の連結業績予想を下記のとおり修正することといたしました。

2023年3月期通期連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

| | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|------------------------|---------|--------|--------|-------------------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想（A） | 211,000 | 25,200 | 27,500 | 21,500 | 266.19 |
| 今回修正予想（B） | 225,000 | 25,600 | 28,600 | 23,200 | 289.59 |
| 増減額（B－A） | 14,000 | 400 | 1,100 | 1,700 | — |
| 増減率 | 6.6% | 1.6% | 4.0% | 7.9% | — |
| （参考）前期実績 （2022年3月期） | 231,461 | 27,748 | 30,421 | 19,703 | 242.55 |

（参考）2023年3月期第2四半期連結業績実績（2022年4月1日～2022年9月30日）と前回発表予想との比較

| | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|-----------------------------------|---------|--------|--------|--------------------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想（A） | 115,000 | 17,400 | 18,300 | 13,300 | 164.67 |
| 実 績（B） | 123,520 | 17,655 | 19,158 | 14,781 | 184.01 |
| 増減額（B－A） | 8,520 | 255 | 858 | 1,481 | — |
| 増減率 | 7.4% | 1.5% | 4.7% | 11.1% | — |
| （参考）前年同期実績 （2022年3月期 第2四半期） | 105,789 | 9,540 | 10,869 | 7,700 | 94.28 |

（注）上記の通期連結業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 43,067 | 51,613 |
| 受取手形及び営業未収入金 | 27,065 | 24,726 |
| 販売用不動産 | 20 | 20 |
| 仕掛品 | 1 | 13 |
| その他 | 9,654 | 16,465 |
| 貸倒引当金 | △160 | △183 |
| 流動資産合計 | 79,648 | 92,655 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 89,262 | 89,912 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 6,216 | 5,948 |
| 船舶（純額） | 4,121 | 495 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 1,014 | 983 |
| 土地 | 64,899 | 65,793 |
| 建設仮勘定 | 835 | 2,646 |
| その他（純額） | 2,309 | 2,430 |
| 有形固定資産合計 | 168,660 | 168,210 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 8 | — |
| 借地権 | 5,140 | 5,138 |
| ソフトウェア | 1,158 | 1,380 |
| その他 | 272 | 301 |
| 無形固定資産合計 | 6,580 | 6,820 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 110,631 | 104,736 |
| 長期貸付金 | 444 | 436 |
| 繰延税金資産 | 633 | 919 |
| その他 | 7,396 | 6,908 |
| 貸倒引当金 | △275 | △239 |
| 投資その他の資産合計 | 118,830 | 112,762 |
| 固定資産合計 | 294,071 | 287,793 |
| 資産合計 | 373,720 | 380,449 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び営業未払金 | 15,880 | 12,201 |
| 短期借入金 | 5,496 | 13,642 |
| 1年内償還予定の社債 | 6,000 | 6,000 |
| コマーシャル・ペーパー | 3,500 | 5,000 |
| 未払法人税等 | 4,089 | 4,967 |
| 賞与引当金 | 1,988 | 1,951 |
| その他 | 11,342 | 14,429 |
| 流動負債合計 | 48,297 | 58,192 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 47,000 | 47,000 |
| 長期借入金 | 24,103 | 17,329 |
| 繰延税金負債 | 27,448 | 25,220 |
| 役員退職慰労引当金 | 79 | 64 |
| 退職給付に係る負債 | 4,235 | 4,356 |
| 長期預り金 | 7,835 | 7,760 |
| その他 | 774 | 923 |
| 固定負債合計 | 111,476 | 102,654 |
| 負債合計 | 159,774 | 160,847 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 14,922 | 14,922 |
| 資本剰余金 | 12,343 | 12,348 |
| 利益剰余金 | 120,659 | 130,675 |
| 自己株式 | △1,062 | △2,934 |
| 株主資本合計 | 146,863 | 155,012 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 53,437 | 49,080 |
| 為替換算調整勘定 | 2,685 | 4,978 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 489 | 419 |
| その他の包括利益累計額合計 | 56,613 | 54,478 |
| 新株予約権 | 246 | 233 |
| 非支配株主持分 | 10,222 | 9,877 |
| 純資産合計 | 213,945 | 219,601 |
| 負債純資産合計 | 373,720 | 380,449 |

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日） | 当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日） |
|--------------|---|---|
| 営業収益 | | |
| 倉庫収入 | 14,065 | 15,103 |
| 港湾運送収入 | 15,506 | 16,032 |
| 国際輸送収入 | 26,126 | 37,707 |
| 陸上運送収入 | 22,428 | 23,724 |
| 海運収入 | 16,357 | 19,466 |
| 物流施設賃貸収入 | 3,005 | 3,075 |
| 不動産賃貸収入 | 5,051 | 4,993 |
| その他 | 3,247 | 3,417 |
| 営業収益合計 | 105,789 | 123,520 |
| 営業原価 | | |
| 作業諸費 | 62,848 | 70,549 |
| 人件費 | 12,376 | 13,307 |
| 賃借料 | 5,636 | 5,781 |
| 租税公課 | 1,152 | 1,224 |
| 減価償却費 | 4,606 | 4,798 |
| その他 | 4,523 | 5,011 |
| 営業原価合計 | 91,144 | 100,672 |
| 営業総利益 | 14,645 | 22,848 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 給料手当及び福利費 | 2,617 | 2,667 |
| 賞与引当金繰入額 | 542 | 449 |
| 退職給付費用 | 114 | 110 |
| のれん償却額 | 8 | 8 |
| その他 | 1,821 | 1,956 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 5,105 | 5,193 |
| 営業利益 | 9,540 | 17,655 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 1,355 | 1,893 |
| 持分法による投資利益 | 109 | 113 |
| その他 | 203 | 166 |
| 営業外収益合計 | 1,668 | 2,173 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 168 | 163 |
| 支払手数料 | — | 377 |
| その他 | 170 | 129 |
| 営業外費用合計 | 339 | 670 |
| 経常利益 | 10,869 | 19,158 |

（単位：百万円）

| | 前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日） | 当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日） |
|------------------|---|---|
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 14 | 637 |
| 関係会社株式売却益 | — | 7,226 |
| 為替換算調整勘定取崩益 | 41 | — |
| 特別利益合計 | 56 | 7,863 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 89 | 192 |
| 訴訟関連費用 | — | 217 |
| 特別損失合計 | 89 | 409 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 10,836 | 26,613 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,602 | 8,196 |
| 法人税等調整額 | 38 | △37 |
| 法人税等合計 | 2,640 | 8,158 |
| 四半期純利益 | 8,195 | 18,455 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 494 | 3,673 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 7,700 | 14,781 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 8,195 | 18,455 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,506 | △4,350 |
| 為替換算調整勘定 | 1,037 | 1,663 |
| 退職給付に係る調整額 | △82 | △70 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 229 | 444 |
| その他の包括利益合計 | 5,691 | △2,312 |
| 四半期包括利益 | 13,886 | 16,142 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 13,348 | 12,646 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 538 | 3,496 |

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

| | 前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日） | 当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日） |
|--------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 10,836 | 26,613 |
| 減価償却費 | 4,815 | 5,020 |
| のれん償却額 | 8 | 8 |
| 引当金の増減額（△は減少） | 375 | △35 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,355 | △1,893 |
| 支払利息 | 168 | 163 |
| 持分法による投資損益（△は益） | △109 | △113 |
| 固定資産売却損益（△は益） | △14 | △637 |
| 固定資産除却損 | 89 | 192 |
| 関係会社株式売却損益（△は益） | — | △7,226 |
| 支払手数料 | — | 377 |
| 為替換算調整勘定取崩益 | △41 | — |
| 訴訟関連費用 | — | 217 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △2,241 | △973 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 552 | 413 |
| その他 | 1,152 | 1,643 |
| 小計 | 14,237 | 23,769 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,465 | 1,912 |
| 利息の支払額 | △168 | △164 |
| 法人税等の支払額 | △2,628 | △5,782 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 12,905 | 19,734 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △1,012 | △1,386 |
| 定期預金の払戻による収入 | 1,151 | 1,036 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2,384 | △7,699 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 17 | 107 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △193 | △445 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △1,029 | △31 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入 | — | 3,909 |
| 関係会社の清算による収入 | — | 178 |
| 貸付金の回収による収入 | 8 | 8 |
| その他 | △145 | △339 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △3,587 | △4,660 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 1,242 | 1,182 |
| 短期借入金の返済による支出 | △2,654 | △1,061 |
| 長期借入れによる収入 | — | 1,650 |
| 長期借入金の返済による支出 | △370 | △398 |
| コマーシャル・ペーパーの発行による収入 | 3,000 | 10,000 |
| コマーシャル・ペーパーの償還による支出 | △1,500 | △8,500 |
| 自己株式の取得による支出 | △1,699 | △1,950 |
| 配当金の支払額 | △1,970 | △4,761 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △123 | △3,842 |
| その他 | △437 | △543 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △4,513 | △8,226 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 494 | 1,172 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 5,300 | 8,020 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 25,272 | 40,840 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | ※ 30,573 | ※ 48,860 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 現金及び預金勘定 | 32,956百万円 | 51,613百万円 |
| 預入期間が3か月を超える定期預金 | △2,383百万円 | △2,752百万円 |
| 現金及び現金同等物 | 30,573百万円 | 48,860百万円 |

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

自己株式の取得

当社は、2022年5月13日開催の取締役会の決議に基づき、当第2四半期連結累計期間において自己株式915,400株、1,947百万円を取得いたしました。

(参考) 2022年5月13日開催の取締役会での決議内容

1. 自己株式取得

- (1) 取得し得る株式の総数 1,500,000株を上限とする
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合1.86%)
- (2) 取得し得る株式の総額 30億円を上限とする
- (3) 取得期間 2022年5月16日から2023年2月28日まで

2. 自己株式消却

- (1) 消却する株式の数 上記1.により取得する自己株式全量
- (2) 消却予定日 2023年3月31日

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

2022年6月に当社の子会社であるJ-WeSco株式会社は、保有するその子会社(当社孫会社)であるWestwood Shipping Lines, Inc.の全株式を売却したため、同社及び同社の子会社2社を第1四半期連結会計期間末に連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社においては、税金費用の計算にあたり、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

（セグメント情報）

I 前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|------------------------|---------|--------|-------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 物流事業 | 海運事業 | 不動産事業 | 計 | | |
| 営業収益 | | | | | | |
| 外部顧客への営業収益 | 84,327 | 16,357 | 5,104 | 105,789 | — | 105,789 |
| セグメント間の内部営業収益 又は振替高 | 291 | 721 | 264 | 1,278 | △1,278 | — |
| 計 | 84,619 | 17,079 | 5,368 | 107,068 | △1,278 | 105,789 |
| セグメント利益 | 6,912 | 2,415 | 2,781 | 12,109 | △2,569 | 9,540 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,569百万円のうち、各報告セグメントに配分していない全社費用は△2,533百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社及び一部の連結子会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|------------------------|---------|--------|-------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 物流事業 | 海運事業 | 不動産事業 | 計 | | |
| 営業収益 | | | | | | |
| 外部顧客への営業収益 | 99,012 | 19,466 | 5,042 | 123,520 | — | 123,520 |
| セグメント間の内部営業収益 又は振替高 | 190 | 964 | 286 | 1,441 | △1,441 | — |
| 計 | 99,202 | 20,431 | 5,328 | 124,962 | △1,441 | 123,520 |
| セグメント利益 | 7,696 | 9,936 | 2,585 | 20,218 | △2,563 | 17,655 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,563百万円のうち、各報告セグメントに配分していない全社費用は△2,717百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社及び一部の連結子会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（参考資料）

1. セグメント別営業収益及び営業利益の当第2四半期実績

（1）営業収益

（単位：百万円）

| | 前年同期実績 (A) | 当第2四半期実績 (B) | 増減(B)-(A) | |
|------------------|---------------|-----------------|-----------|-------|
| | | | 金額 | 比率 |
| 物流事業 | 84,619 | 99,202 | 14,582 | 17.2% |
| 海運事業 | 17,079 | 20,431 | 3,352 | 19.6% |
| 不動産事業 | 5,368 | 5,328 | △40 | △0.7% |
| 計 | 107,068 | 124,962 | 17,894 | 16.7% |
| セグメント間 内部営業収益 | △1,278 | △1,441 | △163 | — |
| 純営業収益 | 105,789 | 123,520 | 17,731 | 16.8% |

（2）営業利益

（単位：百万円）

| | 前年同期実績 (A) | 当第2四半期実績 (B) | 増減(B)-(A) | |
|-------|---------------|-----------------|-----------|--------|
| | | | 金額 | 比率 |
| 物流事業 | 6,912 | 7,696 | 784 | 11.4% |
| 海運事業 | 2,415 | 9,936 | 7,521 | 311.4% |
| 不動産事業 | 2,781 | 2,585 | △196 | △7.1% |
| 計 | 12,109 | 20,218 | 8,108 | 67.0% |
| 調整額 | △2,569 | △2,563 | 6 | — |
| 営業利益 | 9,540 | 17,655 | 8,114 | 85.1% |

（参考）海運事業を含まないセグメント別営業収益及び営業利益の当第2四半期実績

（1）営業収益

（単位：百万円）

| | 前年同期実績 (A) | 当第2四半期実績 (B) | 増減(B)-(A) | |
|------------------|---------------|-----------------|-----------|-------|
| | | | 金額 | 比率 |
| 物流事業 | 84,619 | 99,202 | 14,582 | 17.2% |
| 不動産事業 | 5,368 | 5,328 | △40 | △0.7% |
| 計 | 89,988 | 104,531 | 14,542 | 16.2% |
| セグメント間 内部営業収益 | △556 | △477 | 79 | — |
| 純営業収益 | 89,432 | 104,054 | 14,622 | 16.3% |

（2）営業利益

（単位：百万円）

| | 前年同期実績 (A) | 当第2四半期実績 (B) | 増減(B)-(A) | |
|-------|---------------|-----------------|-----------|-------|
| | | | 金額 | 比率 |
| 物流事業 | 6,912 | 7,696 | 784 | 11.4% |
| 不動産事業 | 2,781 | 2,585 | △196 | △7.1% |
| 計 | 9,694 | 10,282 | 587 | 6.1% |
| 調整額 | △2,569 | △2,563 | 6 | — |
| 営業利益 | 7,125 | 7,719 | 593 | 8.3% |

2. セグメント別営業収益及び営業利益の通期予想

(1) 営業収益

(単位：百万円)

| | 前期実績 (A) | 当期予想 (B) | 増 減(B)-(A) | | 5/13公表 予想(C) | 増 減 (B)-(C) |
|------------------|-------------|-------------|------------|--------|-----------------|----------------|
| | | | 金 額 | 比 率 | | |
| 物流事業 | 178,347 | 194,900 | 16,552 | 9.3% | 180,600 | 14,300 |
| 海運事業 | 45,585 | 21,300 | △24,285 | △53.3% | 21,600 | △300 |
| 不動産事業 | 10,673 | 10,700 | 26 | 0.2% | 10,700 | — |
| 計 | 234,606 | 226,900 | △7,706 | △3.3% | 212,900 | 14,000 |
| セグメント間 内部営業収益 | △3,145 | △1,900 | 1,245 | — | △1,900 | — |
| 純営業収益 | 231,461 | 225,000 | △6,461 | △2.8% | 211,000 | 14,000 |

(2) 営業利益

(単位：百万円)

| | 前期実績 (A) | 当期予想 (B) | 増 減(B)-(A) | | 5/13公表 予想(C) | 増 減 (B)-(C) |
|-------|-------------|-------------|------------|--------|-----------------|----------------|
| | | | 金 額 | 比 率 | | |
| 物流事業 | 14,303 | 15,150 | 846 | 5.9% | 14,750 | 400 |
| 海運事業 | 13,152 | 10,250 | △2,902 | △22.1% | 10,400 | △150 |
| 不動産事業 | 5,296 | 5,200 | △96 | △1.8% | 5,200 | — |
| 計 | 32,753 | 30,600 | △2,153 | △6.6% | 30,350 | 250 |
| 調整額 | △5,004 | △5,000 | 4 | — | △5,150 | 150 |
| 営業利益 | 27,748 | 25,600 | △2,148 | △7.7% | 25,200 | 400 |

(参考) 海運事業を含まないセグメント別営業収益及び営業利益の通期予想

(1) 営業収益

(単位：百万円)

| | 前期実績 (A) | 当期予想 (B) | 増 減(B)-(A) | | 5/13公表 予想(C) | 増 減 (B)-(C) |
|------------------|-------------|-------------|------------|------|-----------------|----------------|
| | | | 金 額 | 比 率 | | |
| 物流事業 | 178,347 | 194,900 | 16,552 | 9.3% | 180,600 | 14,300 |
| 不動産事業 | 10,673 | 10,700 | 26 | 0.2% | 10,700 | — |
| 計 | 189,020 | 205,600 | 16,579 | 8.8% | 191,300 | 14,300 |
| セグメント間 内部営業収益 | △1,167 | △1,400 | △232 | — | △1,400 | — |
| 純営業収益 | 187,853 | 204,200 | 16,346 | 8.7% | 189,900 | 14,300 |

(2) 営業利益

(単位：百万円)

| | 前期実績 (A) | 当期予想 (B) | 増 減(B)-(A) | | 5/13公表 予想(C) | 増 減 (B)-(C) |
|-------|-------------|-------------|------------|-------|-----------------|----------------|
| | | | 金 額 | 比 率 | | |
| 物流事業 | 14,303 | 15,150 | 846 | 5.9% | 14,750 | 400 |
| 不動産事業 | 5,296 | 5,200 | △96 | △1.8% | 5,200 | — |
| 計 | 19,600 | 20,350 | 749 | 3.8% | 19,950 | 400 |
| 調整額 | △5,004 | △5,000 | 4 | — | △5,150 | 150 |
| 営業利益 | 14,595 | 15,350 | 754 | 5.2% | 14,800 | 550 |